

*本冊子に掲載している内容は、一部変更となる場合があります。

内容解説資料
地総 - 703

「教科書発行者行動規範」
に則っております。

文部科学省検定済教科書 高等学校地理歴史科用
46 帝国 地総-703

高等学校 新地理総合

帝国書院



暮らしが見える！ “今”がわかる！ 技能が身に付く！

地理総合教科書の決定版

新科目「地理総合」のポイントと教科書の特徴	2	見開き構成	22
全体構成	4	QRコンテンツ	24
特色1 人々の暮らしが見える 「生活文化」	6	デジタル副教材	25
特色2 国際協力の視点から社会づくりを考える 「地球的課題」	12	指導資料・関連教材	26
特色3 災害発生のメカニズムから対策まで学べる 「防災」	16	特色一覧／著作者	裏表紙
特色4 実践的な地理的技能が身に付く 「地図とGIS」	20		

暮らしが見える！ “今”がわかる！ 技能が身に付く！

地理総合教科書の決定版



高等学校 新地理総合

令和4(2022)年度発刊
地総-703
AB判 238ページ

■ QRコンテンツ

動画や用語解説、一問一答、統計資料などのデジタルコンテンツが充実。さらに、簡単な操作でGISを活用した学習ができる「アクセスWebGIS」を用意。

*詳細は本冊子p.24および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

■ 関連教材

デジタル副教材や指導資料などの関連教材が充実。

*詳細は本冊子p.25-27および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

● 新科目「地理総合」のポイント

■ 学習の目的 -社会で役立つ実用的な資質・能力を身に付ける新科目として必修修化-

- ①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること。
- ②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること。
- ③地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること。

出典：高等学校学習指導要領解説 地理歴史編

■ 地理 A と地理総合の内容の比較

地理 A の内容	地理総合の内容
(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界
ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	→ (1) 地図や地理情報システムと現代世界
イ 世界の生活・文化の多様性	B 国際理解と国際協力
ウ 地球的課題の地理的考察	→ (1) 生活文化の多様性と国際理解
(2) 生活圏の諸課題の地理的考察	→ (2) 地球的課題と国際協力
ア 日常生活と結び付いた地図	C 持続可能な地域づくりと私たち
イ 自然環境と防災	→ (1) 自然環境と防災
ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	→ (2) 生活圏の調査と地域の展望

●大項目はA~Cの3つに編成されたが、中項目は地理Aの内容が活かされている。

特色 1

人々の暮らしが見える 「生活文化」

- 臨場感ある写真と因果関係がわかる本文記述
- 地理学習の基礎を習得できる学習項目
- 諸地域の事例を通して国際理解を深める構成

本冊子
p.6-11

特色 2

国際協力の視点から社会づくりを考える 「地球的課題」

- 具体事例をもとに地球的課題を考察する構成
- 国際協力が見える 特設「持続可能な社会づくりに向けて」

本冊子
p.12-15

特色 3

災害発生のメカニズムから対策まで学べる 「防災」

- 災害発生のメカニズムがわかる模式図と解説
- 実践的な防災行動が身に付くアクティビティ

本冊子
p.16-19

特色 4

実践的な地理的技能が身に付く 「地図とGIS」

- 地図やGISの活用方法を段階的に学べる展開

本冊子
p.20-21

人々の暮らしとの関わりを重視

↓教科書 p.2-3

もくじ

世界の祭りを訪ねて……巻頭 1 私たちが地理を学ぶ意義……1

第1部 地図でとらえる現代世界

第1章 地図と地理情報システム 5

1 節 地球上の位置と時差……6

1 地球上の位置と私たちの生活……6

2 時差と私たちの生活……8

SKILL 1 時差の計算……9

2 節 地図の役割と種類……10

1 地球儀と地図……10

2 身の回りの地図……12

SKILL 2 地形図の利用—地図記号—……14

SKILL 3 地形図の利用—縮尺と等高線—……15

3 統計地図の種類と利用……16

SKILL 4 等値線図の作り方……18

SKILL 5 階級区分図の作り方……19

4 地理情報システム(GIS)の活用……20

SKILL 6 地理院地図の利用……22

SKILL 7 e-Stat と jSTAT MAP の利用……24

SKILL 8 WebGIS の活用……26

第2章 結び付きを深める現代世界 27

1 節 現代世界の国家と領域……28

1 現代世界の国家……28

2 日本の位置や領域……30

2 節 グローバル化する世界……32

1 国家間の結び付き……32

2 貿易によって結び付く世界……34

3 さまざまな交通網の発達……36

4 世界を結ぶ通信網の発達……38

5 観光のグローバル化……40

SKILL 9 統計資料の活用……42

第2部 国際理解と国際協力

第1章 生活文化の多様性と国際理解 43

序説 生活文化の多様性……44

1 生活文化を考察する方法……44

1 節 世界の地形と人々の生活……46

1 大地形と人々の生活……46

2 変動帯と人々の生活……48

3 安定地域と人々の生活……50

4 河川がつくる地形と人々の生活……52

5 海岸の地形と人々の生活……54

6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活……56

SKILL 10 地形図の利用—小地形と土地利用—……58

SKILL 11 空中写真の利用……59

2 節 世界の気候と人々の生活……60

1 気温・降水と人々の生活……60

2 大気循環と人々の生活……62

3 世界の植生と気候区分……64

SKILL 12 雨温図・ハイサーグラフの見方……66

SKILL 13 写真の読み取り方—気候—……67

4 熱帯の生活……68

5 乾燥帯の生活……70

6 温帯の生活……72

7 亜寒帯・寒帯の生活……74

SKILL 14 写真の読み取り方—生活文化—……76

追討事例 自然 1

乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 —オセアニア— ……78

1 人々をひきつける多様な自然環境……78

2 自然環境を生かした産業と人々の生活……80

追討事例 自然 2

モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア— ……82

1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活……82

2 気候を生かした農業と人々の生活……84

3 節 世界の言語・宗教と人々の生活……86

1 世界の言語と人々の生活文化……86

2 世界の宗教と人々の生活文化……88

追討事例 宗教 1

イスラームと人々の生活の関わり —中央アジア・西アジア・北アフリカ— ……90

1 イスラームを中心とした生活文化……90

2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化……92

3 変化するムスリムの生活……94

追討事例 宗教 2

ヒンドゥー教と人々の生活の関わり —インド— ……96

1 インドの歩みとヒンドゥー教……96

2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活……98

3 変化するヒンドゥー教徒の生活……100

追討事例 歴史 1

移民の歴史と人々の生活の関わり —ラテンアメリカ— ……104

1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化……104

2 大土地所有制が生み出した社会構造……106

3 外国資本による工業化と生活の変化……108

追討事例 歴史 2

植民地支配の歴史と人々の生活の関わり —サハラ以南アフリカ— ……110

1 生活文化に残る旧宗主国の影響……110

2 植民地支配の影響が残るアフリカの産業……112

3 人々の生活の変化と経済成長への取り組み……114

第1部 第1章
地図の基礎からGISの活用方法まで習得できる。

第1部 第2章
様々な地図から世界の結び付きを考察できる。

第2部 第1章
世界各地の生活文化を通して、国際理解を深めることができる。

概論での基礎的な学習をもとに、学習を追究できる追討事例を設置。追討事例は世界の主要10の国と地域を掲載。

第2部 第2章
具体事例をもとに地球的課題の解決に向けた国際協力のあり方を考察できる。

第3部 第1章
災害のメカニズムから対策まで考察できる。

第3部 第2章
地域調査の手法を丁寧に習得できる。

- 「生活文化」单元において、地形や気候など地理学習の基礎となる学習項目や、世界各地の生活文化を学べる地域事例が充実！
- 「地球的課題」や「防災」の学習を深めるための基礎知識を習得できる。

追討事例 歴史 3

国家体制の変化と人々の生活の関わり —ロシア— ……116

1 国家体制の変化が人々の生活に与えた影響……116

2 変化するロシアの産業……118

5 節 世界の産業と人々の生活……120

1 人々の生活を支える農業の発展……120

2 人々の生活を支える工業の発展……122

3 グローバル化する現代の産業と人々の生活……124

追討事例 産業 1

産業力が世界の生活文化に与える影響 —アメリカ合衆国— ……126

1 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源……126

2 世界の食卓に影響を与える農業……128

3 産業の発展を支えてきた移民の力……130

追討事例 産業 2

経済成長による人々の生活の変化 —東アジア— ……132

1 東アジアの経済成長とその歩み……132

2 経済成長による中国の生活の変化……134

3 経済成長による韓国の生活の変化……136

追討事例 産業 3

地域統合が人々の生活や産業に与える影響 —ヨーロッパ— ……138

1 EU 統合と人々の生活……138

2 EU 統合による農業への影響……140

3 EU 統合による工業や社会への影響……142

SKILL 15 白地図による地域の特徴のまとめ方……144

追討事例
概論

追討事例

第2章 地球的課題と国際協力 145

1 節 複雑に絡み合う地球的課題……146

1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて……146

持続可能な社会づくりに向けて 1 SDGs について学ぼう……148

2 節 地球環境問題……150

1 多様な地球環境問題……150

2 熱帯林の破壊への対策……152

3 地球温暖化への対策……154

持続可能な社会づくりに向けて 2 海洋汚染について考えよう……156

3 節 資源・エネルギー問題……158

1 世界のエネルギー・鉱産資源……158

2 エネルギー利用の現状と課題……160

3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み……162

持続可能な社会づくりに向けて 3 水の利用について考えよう……164

4 節 人口問題……166

1 世界の人口……166

2 発展途上国と先進国の人口問題……168

3 地域で異なる人口問題への取り組み……170

持続可能な社会づくりに向けて 4 教育の普及について考えよう……172

5 節 食料問題……174

1 飢餓と飽食……174

2 地域で異なる食料問題への取り組み……176

持続可能な社会づくりに向けて 5 食料生産について考えよう……178

6 節 都市・居住問題……180

1 世界の都市の発達……180

2 発展途上国と先進国の都市・居住問題……182

3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み……184

持続可能な社会づくりに向けて 6 感染症の予防について考えよう……186

SKILL 16 関係図によるまとめ方……188

第3部 持続可能な地域づくりと私たち

第1章 自然環境と防災 189

1 節 日本の自然環境……190

1 日本の地形……190

2 日本の気候……192

2 節 地震・津波と防災……194

1 地震・津波による災害……194

2 地震・津波の被災地の取り組み……196

SKILL 17 ハザードマップの見方……199

3 節 火山災害と防災……200

1 火山の恵みと災害……200

2 火山と共生する地域の取り組み……202

SKILL 18 火山地形の読み取り方……205

4 節 気象災害と防災……206

1 さまざまな気象災害……206

2 気象災害への取り組み……208

さくいん……228

SKILL 19 水害の危険がある地域の読み取り方……211

5 節 自然災害への備え……212

1 減災の取り組み……212

2 被災地への支援……214

SKILL 20 防災ゲーム「クロスロード」の活用……215

持続可能な社会づくりに向けて 7 自然災害による被害を減らそう……216

SKILL 21 災害発生時の行動計画の立て方……218

第2章 生活圏の調査と地域の展望 219

1 節 生活圏の調査と地域の展望……220

1 地理的な課題と地域調査……220

2 現地調査の準備……222

3 現地調査の実施……224

SKILL 22 新旧地形図の比較……225

4 調査の分析と発表……226

SKILL 23 ポスターセッションの方法……227

世界の家畜・鉱産物・農産物……巻末 1

【使用上の注意】 国名には略称を用いています。主な略称は以下のとおり。
中国…中華人民共和国 韓国…大韓民国 北朝鮮…朝鮮民主主義人民共和国 ロシア…ロシア連邦

臨場感ある写真と因果関係がわかる本文記述

- 人々の暮らしが見える臨場感ある写真を精選。
帝国書院の社員が撮影したオリジナル写真も多数掲載。
- 地理的事象の因果関係や背景がわかる本文記述で、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができる。

↓教科書 p.68-69

臨場感ある写真で熱帯の暮らしがイメージできる。

4 熱帯の生活

学習課題 熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか。



←1 一年中観光客が訪れるビーチリゾート(インドネシア、バリ島、2018年7月) 年間を通して気温が高く、年較差が小さいため、一年中多くの人でにぎわう。

読み解き 写真1~4から読み取れる植生や生活文化は、熱帯の気候とどのように関わっているのだろうか。



自社撮影



自社撮影



自社撮影

↑2 熱帯の気候で育つ作物が並ぶ市場(インドネシア、2018年9月)

↑3 食事の様子(インドネシア、2018年9月) ご飯と野菜や魚を混ぜて食べる。

↑4 高床式の住居(インドネシア、9月) 木や竹などが家の材料になっている。



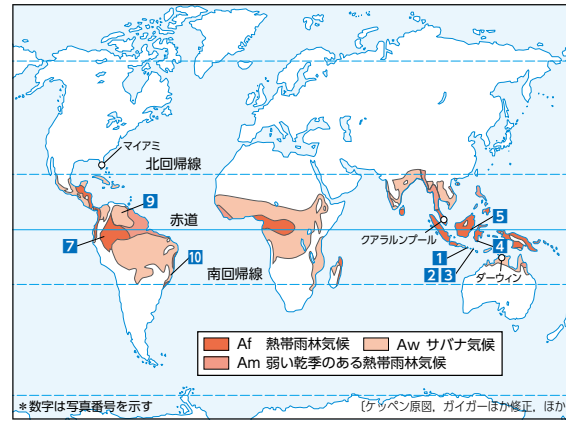
↑5 激しいスクールのなかを歩く子どもたち(インドネシア、サマリダ、9月)

高温多湿な熱帯の生活 熱帯は赤道付近の低緯度に広がり、気温が高く降水量が多い。人々は豊富な森林資源や高温多湿な環境に適した家畜などを利用し、熱帯の気候に対応した生活文化を営んできた。

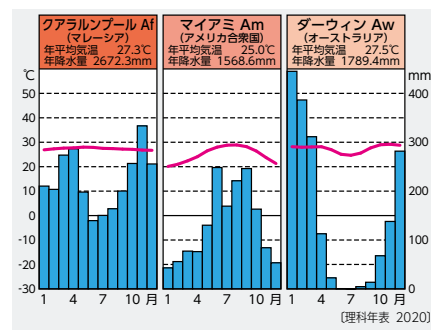
インドネシアの市場にはバナナやパパイヤなどの色鮮やかな熱帯性の農作物が並ぶ(写真2)。食事は米のほか、キャッサバやタロイもなどのいも類が主食である。年較差が小さく四季がないため、一年中風通しのよい衣服で過ごす。伝統的な住居には木材が使われ、床は高床になっており、家の中に熱や湿気がこもらないように工夫されている(写真4)。

(1) **熱帯雨林気候(Af)** 熱帯雨林気候は、ほとんどが赤道付近に分布し、一年中気温が高く、降水量が多い。午後にはスクールという、激しい雨を伴う強風に見舞われることもある(写真5)。熱帯雨林とよばれる多種類の常緑広葉樹からなる密林では、高さの異なる樹木が層をなしている

●**熱帯雨林** 熱帯林のうち、特に降水量が多く、気温が高い地域に生育する森林のこと。南アメリカではセルバ、東南アジアやアフリカではジャングルとよばれる。



↑7 アマゾン川と熱帯雨林(ペルー、2015年7月)



↑8 熱帯の気温と降水量



↑9 高木がまばらに生えるサバナ(ベネズエラ、1月)



↑10 コーヒーの収穫(ブラジル、2018年5月)

(写真7)。熱帯雨林では食用となる植物が少ないため、伝統的には狩猟や自給的な焼畑農業が行われてきたが、現在はバナナや天然ゴム、油やしなどの商品作物のプランテーションが広くみられる。季節風(モンスーン)の影響が強い地域は、弱い乾季のある熱帯雨林気候(熱帯モンスーン気候) (Am)となり、アジアでは稲作が盛んである。

(2) **サバナ気候(Aw)** サバナ気候は、熱帯雨林気候より高緯度側に分布し、夏には熱帯収束帯の影響で降水の多い雨季となり、冬には亜熱帯高圧帯の影響で降水の少ない乾季となる。草丈の長い草原のなかに樹木が点在するサバナが広がり(写真9)、アフリカではゾウやサイなどの大型草食動物が多い。乾季には、樹木はほとんどが落葉し、草原は枯れる。やせた土壌が多いが、インドのデカン高原ではレグール、ブラジル高原ではテラローシャとよばれる玄武岩が風化した肥沃な土壌が広がる。これらの地域では、さとうきびや棉花、コーヒーなどの商品作物の栽培が行われている(写真10)。

●**サバナ** 草丈の長い草原の中に樹木が点在する熱帯の草原地帯のこと。雨季には草が茂り乾季には枯れる。南アメリカのサバナは、オリノコ川流域ではリャノ、ブラジル高原ではセラードやカンポとよばれる。

地図帳 デカン高原やブラジル高原の位置を確認しよう。

その地域の気候と農業の因果関係がわかる。

確認 熱帯雨林気候とサバナ気候の植生や気温・降水量の特徴を説明しよう。

深い学び 熱帯の気候と植生は、衣食住や産業とどのように関わっているのだろうか。事例地域を挙げて説明しよう。

地理学習の基礎を習得できる学習項目

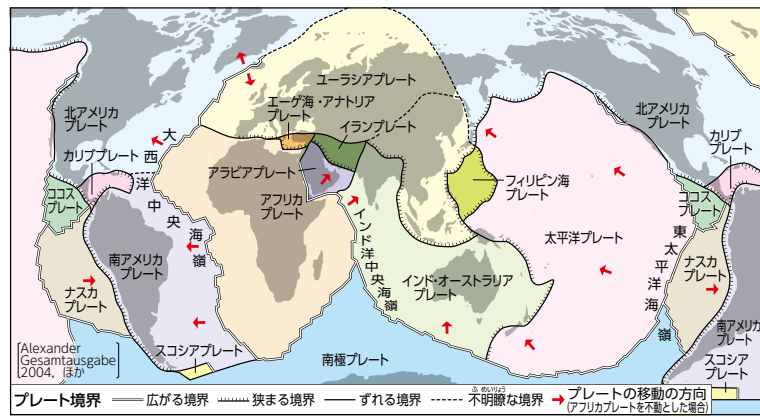
↓教科書 p.48-49

2 変動帯と人々の生活

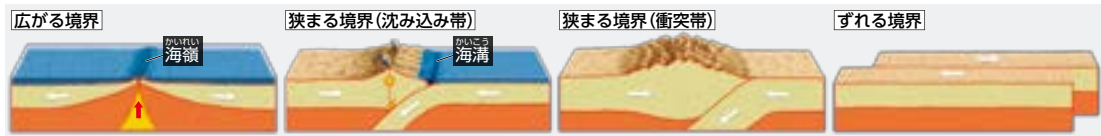
学習課題 変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。



↑1 高く険しい山でトレッキングを楽しむ人々(ネパール、4月) ヒマラヤ山脈は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された。



↑2 世界の主なプレートの分布



↑3 プレート境界の模式図 読み解き それぞれのプレート境界には、どのような特徴があるのだろうか。



自社撮影

↑4 大地のさげ目(ギャオ) (アイスランド) 火山の火口が直線状に並んでいる。

①海嶺 大洋底にある長大な海底山脈のこと。中央海嶺はマントル対流の盛り上がり部分にあたり、プレートが生じる場所と考えられている。

②海溝 海底の細長い凹地のこと。多くが深さ6000m以上で、長さは数百kmから数千kmに及ぶ。固く密度の高い海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む境界に形成される。

変動帯の大地形と生活 変動帯では、高い山地や深い谷などの起伏の大きな地形がみられ、その美しい景観が観光資源となっている場所が多い(写真1)。その一方で地震や火山の噴火などの自然災害が多く、人々の生活に大きな影響を与えている。変動帯にみられるプレート境界は、各プレートの動く向きによって3種類に分類される(図3)。

(1) 広がる境界 隣り合うプレートが互いに遠ざかり、引っ張り合う力が働く境界で、太平洋や大西洋、インド洋の海底で海嶺を形づくっている。大西洋中央海嶺に位置するアイスランドは、火山と氷河がつくる特異な景観によって、毎年多くの観光客が訪れる(写真4)。

(2) 狭まる境界 隣り合う二つのプレートが互いに近づき、押し合う力が働く境界で、プレートの沈み込みや衝突によって、海溝と列島や巨大な山脈などの大地形が形成される。一般に高く険しい山地がみられ、地震や火山の噴火、山崩れなどによる自然災害も多発する。

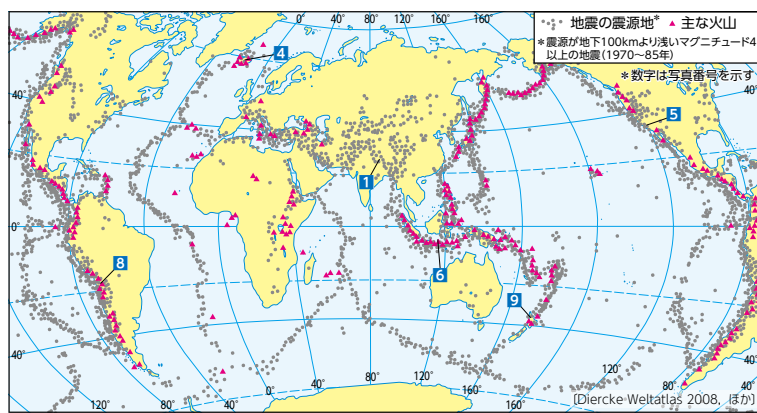
(3) ずれる境界 隣り合うプレートが互いにすれ違い、水平方向にずれ動くような力が働く境界で、主に海域に分布する。陸上では、アメリカ合衆国太平洋岸のサンアンドレアス断層などがみられる(写真5)。



↑5 プレートのずれる境界上にみられるサンアンドレアス断層(アメリカ合衆国、カリフォルニア州) 断層の長さは1000km以上に及ぶ。



↑6 噴煙をあげる火山(インドネシア、ジャワ島) インドネシアは、変動帯に位置しており、多くの火山がみられる。



↑7 世界の主な地震の震源地と火山 読み解き プレート境界と地震の震源や火山の分布には、どのような関係があるのだろうか。

地震・火山に 対応した生活 プレート境界では地震が発生し、建物の倒壊や火災、土砂崩れ、地盤の液状化などの被害が生じる場合がある。また、海底で地震が発生すると津波によって沿岸に災害をもたらすことがある。日本を含む地震の多発地域では、建物の耐震化や津波を防ぐ防潮堤の建設、避難路の確保など、地震や津波への対策が課題になっている。

写真6のような火山の多い地域では、噴火に伴って溶岩や火山灰、火山ガス、火砕流が噴出し、火口周辺を中心にさまざまな被害をもたらす。しかし、火山活動に伴って湧出する温泉、火山灰や風化した溶岩を元とする肥沃な土壌、観光資源としての美しい景観、再生可能エネルギーとしての地熱など、人々は火山からさまざまな恩恵を受けている(写真8・9)。また変動帯のなかには、マグマの作用によって銅や銀、すずを高い密度で含む鉱床が形成される場所もあり、これらの鉱産資源は現代の産業に欠かせないものになっている。

2部1章 生活文化の多様性と国際理解

写真や地図、模式図と丁寧な本文記述で、大地形と人々の生活の関わりがよくわかる。



自社撮影

↑8 温泉と間欠泉(チリ、チリカマタ近郊、2016年9月) 熱水が噴き出す間欠泉を眺めながら、温泉につかることができる。



↑9 ワイラケイ地熱発電所(ニュージーランド) 火山の多いニュージーランドでは、地熱の利用が進められている。

確認 なぜ地震や火山が多い地域と少ない地域があるのだろうか。

深い学び 変動帯でみられる特徴的な生活を説明しよう。

「生活文化」単元に設けた学習項目

1 節 世界の地形と人々の生活	46
1 大地形と人々の生活	46
2 変動帯と人々の生活	48
3 安定地域と人々の生活	50
4 河川がつくる地形と人々の生活	52
5 海岸の地形と人々の生活	54
6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	56
SKILL 10 地形図の利用ー小地形と土地利用ー	58
SKILL 11 空中写真の利用	59
2 節 世界の気候と人々の生活	60
1 気温・降水と人々の生活	60
2 大気循環と人々の生活	62
3 世界の植生と気候区分	64
SKILL 12 雨温図・ハイサーグラフの見方	66
SKILL 13 写真の読み取り方ー気候ー	67
4 熱帯の生活	68
5 乾燥帯の生活	70
6 温帯の生活	72
7 亜寒帯・寒帯の生活	74
SKILL 14 写真の読み取り方ー生活文化ー	76
3 節 世界の言語・宗教と人々の生活	86
1 世界の言語と人々の生活文化	86
2 世界の宗教と人々の生活文化	88
4 節 歴史的背景と人々の生活	102
1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	102
5 節 世界の産業と人々の生活	120
1 人々の生活を支える農業の発展	120
2 人々の生活を支える工業の発展	122
3 グローバル化する現代の産業と人々の生活	124

諸地域の事例を通して国際理解を深める構成

- 自然環境、言語・宗教、歴史的背景、産業などの視点から生活文化の学習を深めるため、世界の主要10の国と地域を追究事例として掲載。
- 地誌的な学習にも対応できる。

歴史や農業、経済などの様々な面から、ヒンドゥー教と人々の生活の関わりがわかる。

↓教科書 p.96-101

3 変化するヒンドゥー教徒の生活

学習課題 経済成長により、ヒンドゥー教の影響を受けた生活は、どのように変化しているのだろうか。

2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活

学習課題 ヒンドゥー教や自然環境は、人々の食生活にどのような影響を与えているのだろうか。

追究事例 宗教② ヒンドゥー教と人々の生活の関わり —インド—

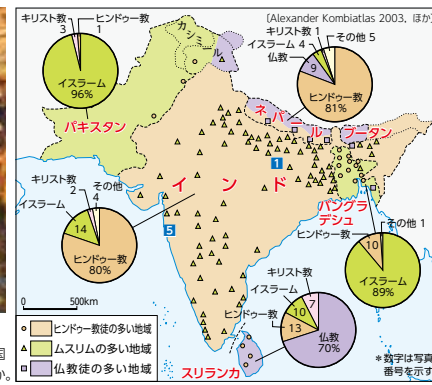
主題 インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。

1 インドの歩みとヒンドゥー教

学習課題 ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのだろうか。



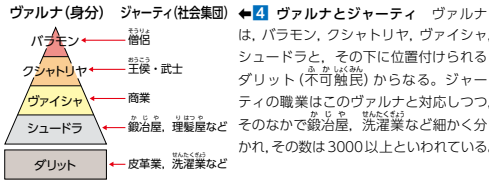
↑1 ガンジス川で沐浴するヒンドゥー教徒(インド、ヴァラナシ、2017年)



年	事項
1498	ヴァスコ・ダ・ガマが海路でインドに到達
1854	イギリス人によりアッサム地方で茶の栽培が始まる
1877	イギリスのヴィクトリア女王がインド皇帝を宣言
1930年代	ガンジーにより独立運動が全国的に広がる
1947	インド連邦とパキスタンが独立。カシミール問題をめぐってインド・パキスタン戦争が起こる
1948	スリランカが独立
1962	インド・中国国境紛争
1971	パキスタンからバングラデシュが独立
1991	インドで新経済政策を導入。経済自由化によって産業などが急速に発展

↑2 南アジアの歩み

写真1のように、ガンジス川沿いのヒンドゥー教の聖地ヴァラナシには、大勢の信徒が集まり沐浴する。インドはヒンドゥー教徒が人口の8割を占めるが、イスラーム王朝が栄えた時代もあり、北部を中心にムスリムも多い(図2)。また、この地に興った仏教やジャイナ教、シク教を信仰する人々もいる。宗教面で多様なインドは、特定の宗教を国教としていない。一方、隣国のスリランカでは、仏教徒のシンハラ人に対して政府が優遇政策をとってきたことから、ヒンドゥー教徒であるタミル人との間で衝突が繰り返されてきた。南アジアでは、さまざまな国家の興亡があった。そうしたなかで、ヒンドゥー教を中心としつつも、イスラームやほかの宗教を信仰する人々と共存する社会がつけられてきた。大航海時代以降、南アジアはヨーロッパとの接触が活発になり、19世紀には産業革命を達成したイギリスが、この地域の多くを植民地にした。第二次世界大戦後には、宗教間の対立が原因でヒンドゥー教徒の多い地域がインド、ムスリムの多い地域がパキスタンやバングラデシュに分離・独立した(図3)。また、インドと周辺諸国の間では領有をめぐる問題が生じている。



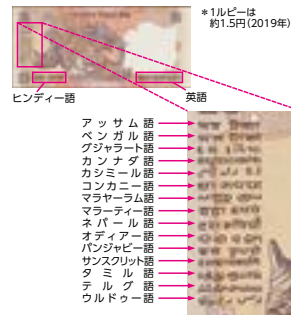
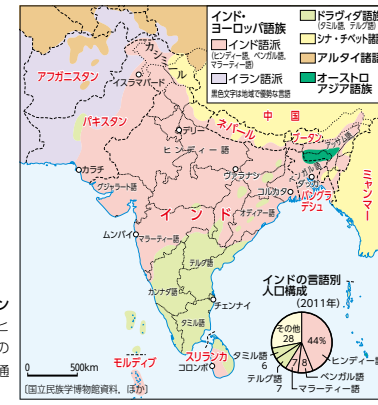
↑4 ヴァルナとジャーティ ヴァルナは、バラモン、クシャトリア、ヴァイシャ、シュードラと、その下に位置付けられるドリット(不可触民)からなる。ジャーティの職業はこのヴァルナと対応しつつ、そのなかで鍛冶屋、洗濯業など細かく分かれ、その数は3000以上といわれている。

↑5 洗濯業のジャーティ (インド、ムンバイ) 屋外の洗濯場では、洗濯業のジャーティの人々が、家庭から預かった衣類を洗濯する。

↑6 南アジアの言語分布とインドの言語別人口構成 インドでヒンディー語が話せる人は全人口の4割程度で、実際には英語が共通語として広く使われている。

↑7 ヒンドゥー教と人々の生活 インド社会は古代より、ヒンドゥー教の教えに基づくカースト制とよばれる身分制度に規定されている。カースト制ではヴァルナとよばれる身分と、出自で決められるジャーティという社会集団が重視される(図4)。ジャーティごとに、伝統的に同一の職業に就くことで社会の分業が成り立ち(写真5)、結婚もその集団内で行われる。上位カーストは下位カーストとの接触を不浄とみなすなど、カースト制には日常における差別を助長する面があるため、今日、憲法ではカーストによる身分差別を禁止し、職業選択や婚姻の自由も認められている。しかし、就職が必要となる学歴には、親の社会的地位や経済力が求められることが多く、従来のカーストに基づく分業が繰り返されることも多い。そのため、政府により下位カーストの人々を対象に奨学金制度や就職時の優遇政策がとられたり、特定のジャーティと結び付かない新しい産業の職に就いたりすることで、カースト制の意味はようやく弱まってきている。

↑8 多様な言語 写真7のように、インドの紙幣はさまざまな言語で表記されている。また、雑誌や新聞もさまざまな言語のものが発行されている。南アジアでは、少数民族の言語や方言を含めると数百から数千の言語が用いられているといわれている。インドでは、最も話す人が多いヒンディー語が連邦公用語に定められているが、州や地方別の公用語も設けられている。また英語が共通語として用いられる。近年では経済活動のグローバル化によって英語の重要性が増していることから、英語教育への関心がより一層高まっている。



↑7 17の言語で金額が示されたインドの10ルピー紙幣

確認 南アジアの国々において、大多数の人に信仰されている宗教を国ごとに説明しよう。

深い学び ヒンドゥー教徒が多いインドでは、カースト制によってどのような問題を抱えているのだろうか。

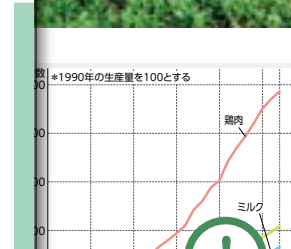
2部1章 生活文化の多様性と国際理解

深める 世界で活躍するインド系移民

インドは世界各地に多くの移民を送り出してきた。インド系移民は、19世紀に奴隷制が廃止されたのち、労働力が不足した南アフリカ、東南アジア、オセアニアを中心に、プランテーションや都市建設を担った。旧宗主国であるイギリスや、英語力が必要なカナダへも渡っている。アジアへの出稼ぎ労働者も増加したが、より外貨獲得が困難になった。このことが要因の一つとなった。受け入れた人材がその技術を海外で生かすことで、日本でもインド系のICT技術者が

州内純生産額と人口移動 読み解き 州のあたりに分布しているのだろうか。

↑9 BRICS 経済成長が著しいブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国の5国のこと。英語表記での各国名の頭文字を並べてBRICSとよばれる。



↑9 インドにおける主な農産物の生産量(1990年の生産量を100とする)

地域	主題(テーマ)
東アジア	経済成長による人々の生活の変化
東南アジア	モンスーンの影響を受ける地域での生活
インド	ヒンドゥー教と人々の生活の関わり
中央アジア・西アジア・北アフリカ	イスラームと人々の生活の関わり
サハラ以南アフリカ	植民地支配の歴史と人々の生活の関わり
ヨーロッパ	地域統合が人々の生活や産業に与える影響
ロシア	国家体制の変化と人々の生活の関わり
アメリカ合衆国	産業力が世界の生活文化に与える影響
ラテンアメリカ	移民の歴史と人々の生活の関わり
オセアニア	乾燥した大陸と太平洋の島々での生活

具体事例をもとに 地球的課題を考察する構成

- 発展途上国と先進国など、立場や環境の異なる複数の具体事例を掲載。
- 随所に掲載されている日本の事例のコラムで、日本と比較しながら考察を深めることができる。

↓教科書 p.168-169

2 発展途上国と先進国の人口問題

学習課題 発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。

1 世界の合計特殊出生率
読み解き 合計特殊出生率には、発展途上国と先進国でどのような違いがみられるのだろうか。

2 家族計画の普及活動 (ナイジェリア、カノ)
読み解き 女性たちがボランティアから子どもを産む間隔を空けることの重要性を教わっている。

3 世界の乳児死亡率
読み解き 乳児死亡率が高い地域にはどのような特徴があるのか、図1と比較して考えよう。

4 中国の人口ピラミッドの変化
読み解き 一人っ子政策の実施によって、中国の人口構成はどのように変化していったのだろうか。

5 家族計画 家族の生活の安定などのために、出産する子どもの数や時期を計画的に調整すること。発展途上国では、政府が政策的に家族計画を奨励している例もある。

6 一人っ子政策 1組の夫婦の子どもを一人に制限する中国の人口政策のこと。1979年に始められたが、この政策は見直され、現在は3人まで子どもをもつことが認められるようになった。

発展途上国の人口問題 発展途上国の死亡率は、感染症の流行や紛争などのため先進国より高いが、衛生状態の改善や医療の普及によって低下してきた。他方、多くの子どもをもつことを望ましいとする考え方が根強く、妊娠・出産に関する情報が十分でないなど、発展途上国の出生率は先進国より高い(図1)。このため、発展途上国では出生率と死亡率の差が大きく、人口増加率が高い。その結果、経済の発展が人口増加に追いつかず、食料や就業機会の不足などが生じている。また、農村から都市に向かう国内人口移動も増え、急激な都市化の一因になっている。多くの発展途上国では、高い人口増加率をもたらす出生率を下げるために**家族計画**が奨励されてきた(写真2)。しかし、家族計画がうまく普及せず出生率がなかなか下がらない国や、中国の**一人っ子政策**のように政府主導の取り組みが功を奏したものの出生率が下がり過ぎ、人口ピラミッドが**つば型**に変化している国もある(図4)。

168 Key Words 家族計画 一人っ子政策 少子化・高齢化 移民 難民

3 地域で異なる人口問題への取り組み

学習課題 人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。

1 世界の人口問題 日本は世界で最も高齢化の進んだ国である。日本の高齢化は1970年代から進み始め、老年人口の割合は、わずか24年で7%から14%に倍増した。このような急速な高齢化は出生率の低迷と関連しているため、政府は高齢化や少子化への対応を本格化させていった。例えば、介護保険制度によって社会で介護を支えるしくみをつくり、育児休業の取得推奨や保育所定員増の増大などにより、社会で子育てを支える環境の整備を進めている。しかし、より少ない労働力で多くの高齢者や子どもを支えなければならないため、制度の整備や運用には課題も多い。

2 主要国の老年人口の割合の推移

3 先進国の人口問題 先進国では、出生率の低下と高齢化が進むと高齢者に比べて若年者が少ない状況となり、高齢者を支えるという社会の負担が増える。また、高齢者の生活を支えるための施設、既存の施設のバリアフリー化など若年者が減ることで、産業を支えるため、先進国では労働力としての移住の背景が異なる人々との共存という課題が生じている。

4 インドにおける都市と農村の乳児死亡率の推移 都市と農村の乳児死亡率の差は、都市の方が低い傾向がある。

5 地域で異なる人口問題への取り組み 先進国では、出生率の低下と高齢化が進むと高齢者に比べて若年者が少ない状況となり、高齢者を支えるという社会の負担が増える。また、高齢者の生活を支えるための施設、既存の施設のバリアフリー化など若年者が減ることで、産業を支えるため、先進国では労働力としての移住の背景が異なる人々との共存という課題が生じている。

6 インドの人口ピラミッド インドの人口ピラミッドは、若年人口の割合が非常に高い。

7 家族計画の普及をよびかける看板 (インド、ニューデリー)

8 フランスの人口ピラミッド フランスの人口ピラミッドは、高齢人口の割合が比較的高い。

9 主要国における女性の年齢別就業率 子育て世代の20代~40代に著目して、日本とほかの国を比較しよう。

10 フランスの主な保育サービス フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育料の7割を担っていることとされる。

170 Key Words 家族計画 識字率 NGO 高齢化 家族政策

日本の人口問題を紹介。日本と世界の共通点と相違点が見える。

対比的なレイアウトでインドの事例とフランスの事例を比較しやすい。

↓教科書 p.170-171

11 カゴ付きの自転車でも送迎する父親 (フランス、トゥールーズ、2018年)

12 保育ママ 公的に登録された在宅での保育サービス提供者のこと。認定保育ママは、利用者が雇用し、賃金や社会保険料を負担するが、この費用については公的な補助がある。

13 発展途上国のインドと先進国のフランスが抱える人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。

14 インドとフランスでは、人口問題を解決するために、どのような取り組みが行われているのか説明しよう。

15 発展途上国と先進国では、人口問題とその対策にどのような違いがあるのだろうか。

171

● 地球的課題に関連する「世界の中の日本」コラム

頁	タイトル
p.151	環境を保護する日本の取り組み
p.161	エネルギーの地産地消
p.169	日本の人口問題
p.175	食料の安定供給に向けた取り組み
p.183	三大都市圏に人口が集中している日本

国際協力が見える 特設「持続可能な社会づくりに向けて」

↓教科書 p.172-173

持続可能な社会づくりに向けて
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 4

教育の普及について考えよう

質の高い教育を普及させるための取り組み

TRY

- すべての人に質の高い教育を普及させることは、SDGsにおける17の目標のうち、どの目標の解決に結び付くのだろうか。関連すると考えられる目標を赤色で囲もう。
- 世界の教育の現状について、1の事例からとらえよう。
- 2と3の事例から、教育に関連したSDGsの目標を達成するために、日本が協力できることや私たちが取り組めることは何か考えよう。

1 教育をめぐる世界の現状

識字率(2017年)

- 90%以上
- 80~90
- 70~80
- 60~70
- 50~60
- 50%未満
- 資料なし*

マラウイ 62%
ケニア 79%
アフリカ 32%
チャド 22%

*識字率が99%以上と推定される国などでは、調査が行われていない。(UNESCO Institute of Statistics)

15歳以上の人口のなかで、日常生活で簡単な文章を読み書きできる人口がどのくらいいるのかを表すのが、**識字率**(→p.170)である(図1)。識字率は、小学校段階の教育がどのくらい普及しているのかということと関連しており、国や地域による差が大きい。識字率が高いのは、日本をはじめ、欧米などの先進国である。一方、アフリカや南アジアなどの発展途上国では識字率は低い。発展途上国では、貧しい家計を助けるために多くの子どもたちが労働に従事しており(図2、写真3)、働くために学校に通えない子どもが多いことが問題となっている。

1 世界の識字率
読み解き 識字率が低い国は、どの地域に集中しているのだろうか。

中東 116
ヨーロッパ、中央アジア 553
南北アメリカ 655 1074
アジア太平洋 2847 6208
アフリカ 3154 7211

*1 児童の健康や安全、道徳を害する恐れのある労働。
*2 就業最低年齢(原則15歳)を下回る児童が行う労働。(2016年) (ILO資料)

日本では、1970年代半ばごろには約9割の人が高校へ通うようになり、大学への進学率も一気に上がった。1990年代以降は幅広い知識や高い専門性が求められるようになり、女性の大学進学率も高まっている(図4)。

2 地域別にみた児童労働者数
読み解き 日干しレンガをつくりをする子どもたち(アフガニスタン、カブール) 貧しい家庭が多いアフガニスタンでは、子どもも収入を得るための労働力と考える家庭が今なお多い。

3 日本男女別大学進学率の推移
読み解き 女性の大学進学率が高まった背景には、どのようなことがあるのだろうか。

2 部 2 章 地球的課題と国際協力

2 子どもたちが学校に通える環境を整えるために必要なこと

すべての人に質の高い教育を普及させることは、持続可能な社会をつくるうえで最も効果的な手段の一つである。世界の教育環境にはどのような課題があり、質の高い教育を普及させるためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。ここでは、4節「人口問題」の学習内容を生かして、質の高い教育の普及について考えよう。

5 屋外で授業を受ける子どもたち(マラウイ、2015年) 教室の設備は黒板だけで、子どもは土の地面にじかに座っている。

6 学校給食プログラムで給食を食べるスラムの小学校の子どもたち(ケニア、ナイロビ) 国連世界食糧計画(WFP)では、学校で毎日栄養価の高い給食を提供する取り組みを、アフリカなどの国々を中心に実施している。この取り組みによって、子どもたちの通学頻度が高まり、教育水準も向上することが期待されている。

小学校に通えない子どもの数は、図7のように減少傾向にある。しかし、地域によっては、依然として小学校に通えない子どもの数が多い所もある。例えば、サハラ以南アフリカでは子どもの約5人に1人、西アジアおよび南アジアでは子どもの約10人に1人が小学校に通うことができていない。このような状況の改善には、紛争の解決や国内の治安の改善、教室などの教育を受けるための施設の整備など、学校に通うための社会環境づくりが必要である。そこで、生活水準の向上、学校給食の普及のような、子どもを学校に通わせたいくなるしくみが、国連やNGO(→p.147)などによって行われている。

7 小学校に通えない子どもの数の推移
読み解き 地域による違いに着目しよう。

3 質の高い教育の普及を援助する日本の国際協力

8 日本から送られたミシンで縫製の職業訓練を受ける女性(フィリピン) 女性が経済的に自立するための技能教育がNGOによって行われている。

アジアやアフリカなどの発展途上国では、一般的に男性よりも女性のほうが教育を受ける機会に乏しい。そのため、日本政府はこれらの国々でNGOなどを支援することで、十分な教育を受けられず、貧しい生活環境におかた女性たちに教育を受ける機会を設け、貧困から抜け出すための手助けを行(図9)。このような取り組みは、女性自身の人生を豊かにするだけの子どもたちへの貧困の連鎖を防ぐことにもなる。また、教育を普及は、教育を担う教員が必要となるため、小学校の教員などの人材を取り組みも進められている(写真10)。

9 NGOの活動に対する日本政府の資金援助の内訳
読み解き どのような分野に力が入れているのだろうか。

10 日本の国際協力機構(JICA)が支援している小学校教員養成のための学校(カンボジア、2019年) 子どもたちの教育を支える教員を養成するため、各国で施設の建設や技術協力が進められている。

教育の普及について、SDGsの17の目標を意識して考えることができる。

日本の国際協力の事例を通して、地球的課題の解決に向けた自分自身の行動を考えることができる。

「持続可能な社会づくりに向けて」一覧

頁	タイトル
p.148-149	SDGsについて学ぼう
p.156-157	海洋汚染について考えよう
p.164-165	水の利用について考えよう
p.172-173	教育の普及について考えよう
p.178-179	食料生産について考えよう
p.186-187	感染症の予防について考えよう
p.216-217	自然災害による被害を減らそう

*教科書p.156~の6テーマでは日本の国際協力の事例を掲載しています。

災害発生メカニズムがわかる 模式図と解説

↓教科書 p.194

直下型地震と海溝型地震の震源の深さの違いがわかる。

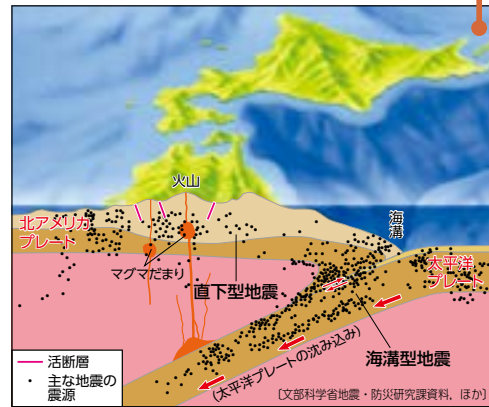
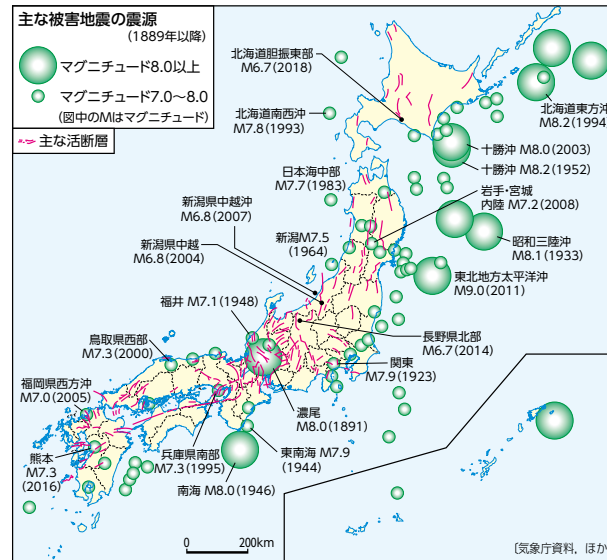
2節 地震・津波と防災

節の主題

変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。

1 地震・津波による災害

学習課題 地震・津波による災害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。



↑1 主な地震の震源と活断層
 読み解き 規模の大きな地震はどこで発生しやすいのだろうか。

① マグニチュード (M) 地震の規模を表す値のこと。マグニチュードの値が1大きくなると、地震のエネルギーは約32倍になる。

② 震度 各地点の揺れの大きさを示す指標のこと。日本では、震度は0から7までの数字で決められ、そのうち、震度5と6は弱と強の二つに分かれており、計10段階で示される。



↑3 長野県北部地震によって地表に現れた断層 (長野県、白馬村、2014年)

地震の種類と特徴

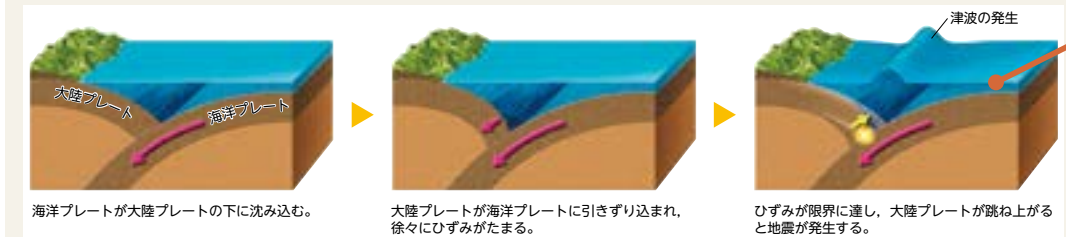
変動帯に位置する日本は、世界的にみても特に地震の多い地域である (図1)。地震はプレートの沈み込みや衝突で生じる力により、プレート境界に徐々に蓄積されたひずみが、一気に解放されるときに発生する。地震の規模はマグニチュード (M) で表され、各地点の揺れの大きさは震度で示される。通常、震源から遠ざかるにつれて震度は小さくなる。また、地盤の質の違いによっても震度の大きさは異なる。日本列島の太平洋沖に分布する千島・カムチャツカ海溝、日本海溝、相模トラフ、南海トラフ、南西諸島海溝などに沿う場所では、プレート境界にたまったひずみが解放されると、非常に規模の大きな海溝型地震が発生する (図2)。海溝型地震では、津波が発生して沿岸地域に甚大な被害をもたらすことがある。一方、内陸部の活断層がずれ動いて発生する地震は、人の住む土地の直下で発生することから直下型地震とよばれる。直下型地震は規模が小さくても、震源に近い都市に大きな被害をもたらす。

↓教科書 p.198

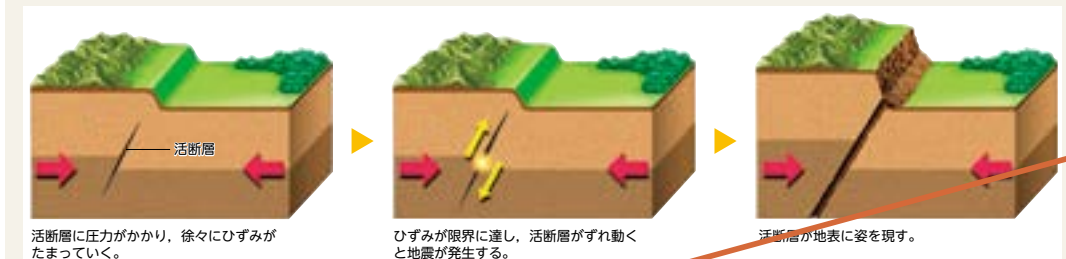
深める 地震や津波が発生するしくみ

地震のしくみ

① 海溝型地震 海洋プレートが沈み込むと、大陸プレートも引きずられてひずみがたまり、限界に達すると、大陸プレートが跳ね上がって地震が発生する。巨大地震はこのタイプが多い。 ↓1 海溝型地震のしくみ



② 直下型地震 海洋プレートの沈み込みによって大陸プレート内部に圧力がかかるとひずみがたまって活断層がずれ動き、地震が発生する。震源は地下十数 km と浅いことが多い。 ↓2 直下型地震のしくみ



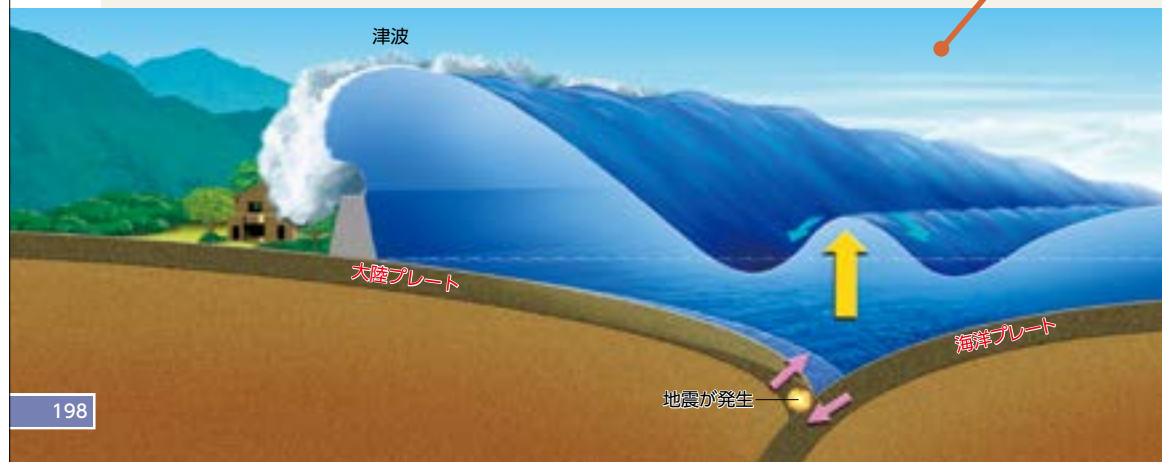
津波のしくみ

津波は、海溝型地震の発生に伴う大陸プレートの跳ね上がりによって、海底が隆起したり沈降したりすることで発生する。海底地形の変化と連動して、海水も隆起したり沈降したりする。隆起した海水は重力によって崩れ、高波となってあらゆる方向へ広がる。陸に向かった波は、水深が浅くなるにつれて高さを増し、津波となる。



↑3 津波に襲われた海岸 (インドネシア、スラウェシ島、2018年)

↓4 津波のしくみ QR動画



模式図によって、地震のしくみが視覚的にイメージできる。

丁寧な解説と迫力ある模式図によって、津波のしくみがよくわかる。

「防災」単元の主な模式図

頁	タイトル
p.194	主な地震の震源の深さ
p.198	海溝型地震 直下型地震 津波のしくみ
p.200	火山の恵みと火山災害
p.204	噴火のしくみ カルデラの形成
p.206	さまざまな気象災害
p.208	都市で洪水が起こるしくみとその対策
p.210	台風の構造 線状降水帯の模式図

実践的な防災行動が身に付く アクティビティ

↓教科書 p.215

SKILL 20 防災ゲーム「クロスロード」の活用

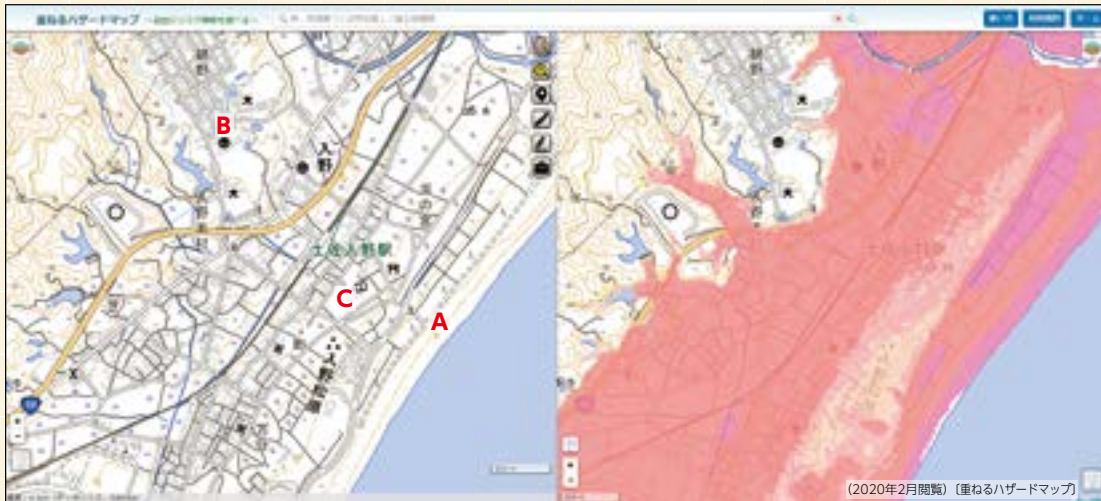
TRY 1 図4を参考にしながら、地震が発生したときのことを考えよう。Q1～Q3のような判断の分かれ道(クロスロード)で、あなたならYESとNOのどちらを選ぶだろうか。また、そのように判断した理由を話し合おう。

2 国土地理院の「重ねるハザードマップ」で、図4の地域の津波浸水想定を調べよう。また、津波の指定緊急避難場所も確認しよう。

Q1 YES or NO
あなたは同級生たちと海辺(A)に遊びに来た。地震を感じたが、大した揺れではないと感じた。まず、スマートフォンで情報収集をする？

Q2 YES or NO
スマートフォンで津波警報を受信したので、急いで逃げ始めた。高台の高校(B)まで行けば安全そうだが、20分くらいかかりそう。友人は、「近くの図書館の屋上の避難場所(C)の方が近そうだ」と言う。友人に付いて行く？

Q3 YES or NO
避難場所に着いた。時間がたち、食べ物が足りず、あなたはとても空腹。限られた食料を小学生以下の子どもと65歳以上の高齢者にだけ配布してはどうかと提案があった。賛成する？



↑4 「重ねるハザードマップ」でみた高知県黒潮町の周辺(左)と同じ場所の津波浸水想定(右) 左の地形図に津波浸水想定を重ね合わせると、右の地図になる。この地図に、さらに指定緊急避難場所や、道路の通行規制区間、冠水想定箇所などの道路防災情報を重ね合わせることもできる。

【ポイント】国土地理院が公開している「重ねるハザードマップ」では、津波や洪水、土砂災害のハザードマップなどを重ねて表示することができる。

防災ゲーム「クロスロード」とは

防災は人間と自然の対決にみえるが、防災のための技術や制度が複雑化し、人々の考え方や価値観が多様化した現代社会では、人間と人間、あるいは、ある対策と別の対策との間の葛藤と調整、合意形成における判断なども重要な意味をもつ。

「クロスロード」とは判断の分かれ道のことで、防災に関する取り組みにみられるジレンマを題材に、二者択一の設問にYESまたはNOの判断を下すことを通して、防災を他人事ではなく自分のこととして考え、相互に意見交換することをねらいとした

した集団ゲームである。

災害時の行動にはっきりとした正解がないのと同様に、「クロスロード」の選択肢にも明確な正解はない。例えばQ1では、情報収集は確かに大切なことではあるが、地震発生後、わずかな時間で津波が押し寄せる可能性もあるので、直ちに高い場所に逃げたほうがよい場合もある。災害時に多くの人に受け入れられる判断を導き出し、実行に移すための対策を事前に進める準備として「クロスロード」に取り組むことが大切である。

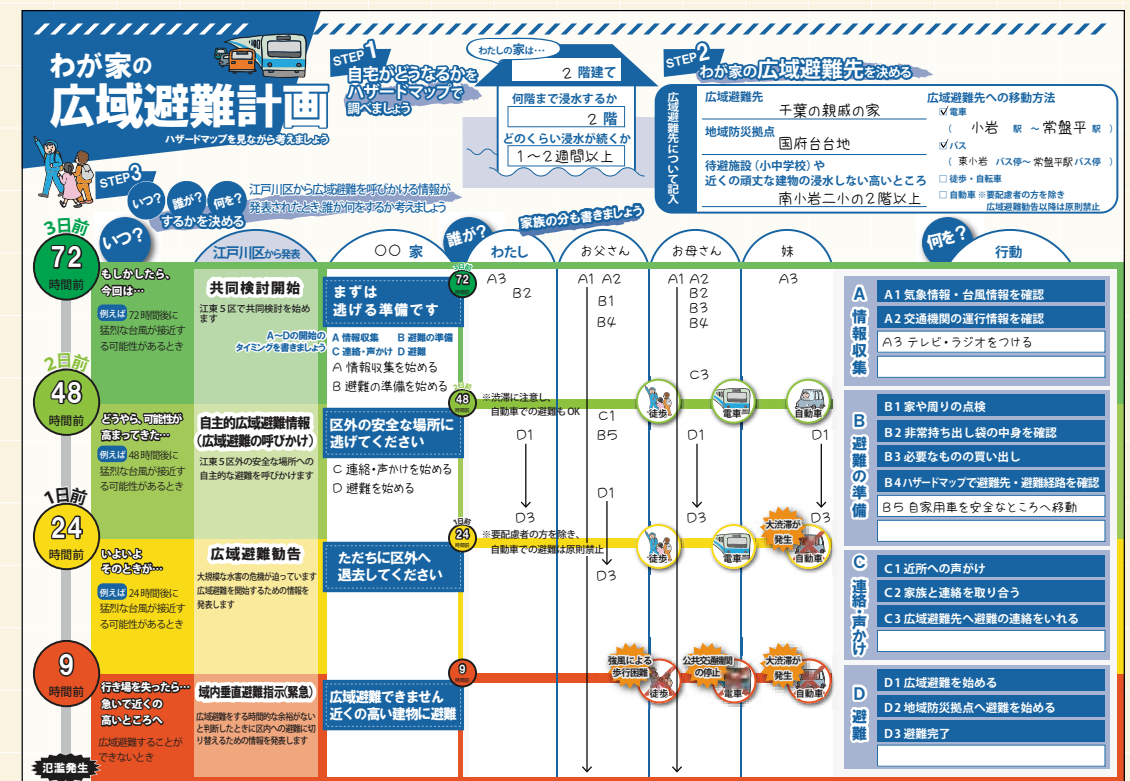
ゲームを通して、災害時の行動を実践的に考えることができる。

↓教科書 p.218

SKILL 21 災害発生時の行動計画の立て方

TRY 1 自分が暮らす地域のハザードマップなどを入手し、地域や学校周辺にはどのような地形や気候の特徴がみられ、どのような自然災害が起こる危険性があるのかを調べよう。

2 図1を参考に、特に危険性の高い自然災害の発生を想定して、タイムライン(防災行動計画)を作成しよう。その際、自分の家の家族構成や生活環境に合わせて、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何を」を明確にすることに留意しよう。



↑1 タイムライン(防災行動計画)の作成例(東京都江戸川区の例) 区の大部分が2週間以上にわたって浸水するという想定が基になっている。

【ポイント】警戒レベル(→ p.213)を想定して、それに合わせた行動計画を立てると災害発生時に判断しやすい。

災害発生時の行動計画の作成

自然災害への備えの一つとして、災害が起こった際の対応を時系列で整理しておくタイムライン(防災行動計画)の作成が有効である。自然災害を想定し、各家庭の家族構成や生活環境に合わせて、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何を」をあらかじめ整理することで、急な判断が迫られる災害発生時の判断材料とすることが期待できる。

タイムラインを作成する際には、まず地域のハザードマップ

(→ p.199)などで自分の暮らす地域や学校周辺に、どのような地形や気候の特徴がみられ、どのような自然災害の危険があるのかを把握することが大切である。また、防災に関する情報をどこから入手するのかを確認することも大切である。一方で、自然災害が事前の想定どおりになることは少ない。そのため、実際に災害が発生した際には、作成したタイムラインを参考にしながら臨機応変に行動することが重要である。

災害時の行動を事前に整理することで、災害時の判断材料にすることができる。

地図やGISの活用方法を段階的に学べる展開

↓教科書 p.19

↓教科書 p.22

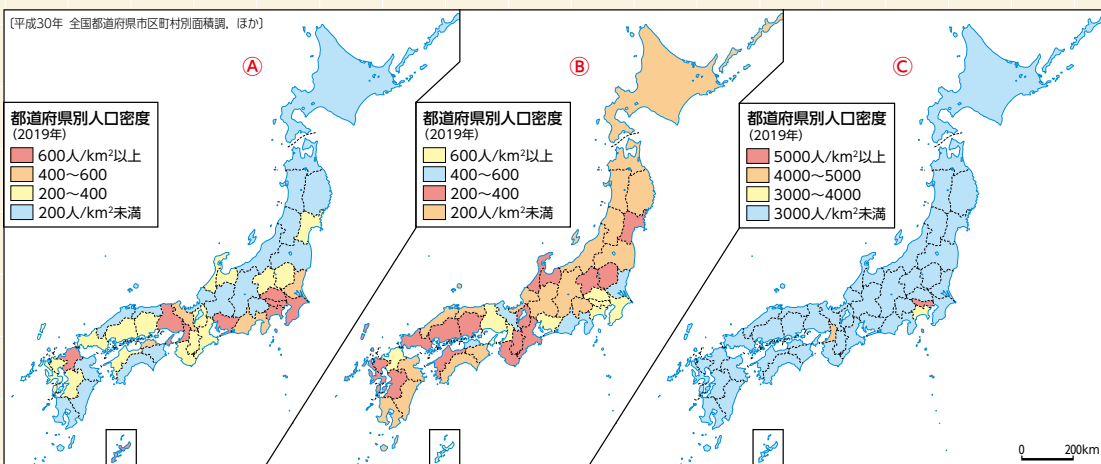
- 地図やGISの活用方法を丁寧に紹介。
 - 簡単な操作でGISを活用した学習ができる
- QRコンテンツ「アクセスWebGIS」を用意。
- *「アクセスWebGIS」の詳細は本冊子p.24をご覧ください。 ▲QRコンテンツはこちらから



SKILL 5 階級区分図の作り方

TRY 1 図5のA~Cのなかで、日本の人口密度の傾向を最も適切に表現した階級区分図はどれだろうか。また、ほかの図はどの点が多不適切なのだろうか。

2 図6について、統計資料を基に、傾向がよく表れるような階級区分図を作成しよう。また、図5と比べて分かることを説明しよう。



↑5 同じ内容を異なる色と階級で示した階級区分図の例

都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)
北海道	16.7	新潟	13.8	奈良	16.7	熊本	15.6
青森	12.5	富山	11.0	和歌山	8.9	大分	14.0
岩手	10.1	石川	26.7	鳥取	13.7	宮崎	10.0
宮城	24.6	福井	14.1	島根	11.2	鹿児島	10.3
秋田	10.0	山梨	20.6	岡山	22.3	沖縄	13.4
山形	12.0	長野	8.4	広島	14.7		
福島	8.1	岐阜	10.6	山口	21.7		
茨城	13.2	静岡	9.7	徳島	18.8		
栃木	11.2	愛知	25.6	香川	10.0		
群馬	16.9	三重	8.4	愛媛	12.4		
埼玉	16.1	滋賀	23.8	高知	13.4		
千葉	17.9	京都	63.4	福岡	23.7		
東京	55.5	大阪	27.5	佐賀	10.5		
神奈川	21.1	兵庫	22.5	長崎	13.9		

←6 1000人あたりの大学生数

階級区分図の作り方

階級区分図を作成するには、まず統計数値の最大値と最小値に注目して3~5階級ぐらいに区分する。次に、階級区分に応じて明るい色から暗い色へ、暖色から寒色へ、濃淡や色彩を決める。この際、各区分の大小の順序が分かるようにパターンを工夫することが大切である。階級区分やパターンの決め方が悪いと作図の意図が伝わりにくくなる。統計地図を作成する際には、意図が伝わりやすい図のタイトルを付けることや、凡例、統計の調査年、出典、縮尺(スケール)を記載することなどにも留意が必要である。

階級区分図を表現する上での留意点までわかる。

SKILL 6 地理院地図の利用

TRY 1 地理院地図のウェブサイトを開き、「情報」にある「ベースマップ」をクリックして、どのような種類のベースマップがあるのか調べよう。

2 図1を参考に、検索バーに自分の通う学校名を入力して、その場所の地図を表示させよう。

3 2で表示させた場所の緯度・経度、標高を読み取ろう。

4 「機能」にある「ツール」から「計測」をクリックして、学校から自宅までの距離を計測しよう。

5 「機能」にある「断面図」をクリックして、学校から自宅までの断面図をつくろう。また、グループをつくり、完成した断面図を比べよう。

地理院地図の特色と機能

国土地理院は、最新の電子国土基本図(→p.13)を地理院地図としてインターネット上で公開している。地理院地図では、地図を自由に動かしたり、拡大・縮小したりすることができる。地図を拡大していくと、2万5千分の1地形図のように等高線や地図記号が表示される。地図上で距離や面積を計測する機能のほか、断面図を作成する機能や土地を立体的に表す3Dの機能もある。

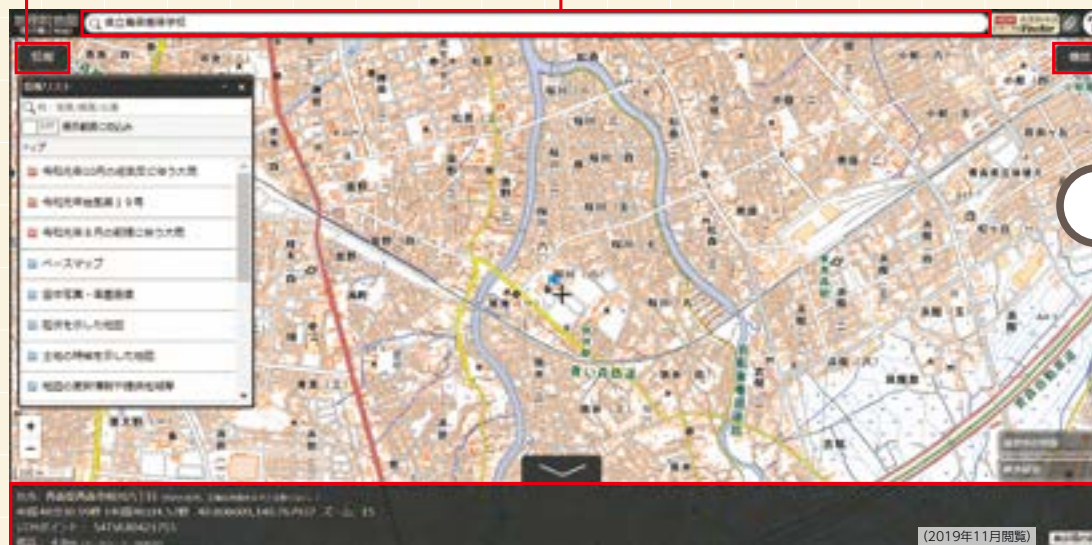
地図以外にも多数の情報が用意されており、空中写真や衛星画像は、最新のものだけでなく、古い年代のものも閲覧できるため、地域の様子の変化をとらえる際に役立つ。また、標高に応じて土地の色を変えた段彩図を表示したり、高さの範囲や色を指定して独自の段彩図をつくったりする機能もある。このほか、過去に発生した地震や豪雨といった自然災害の被害を示した情報、自然災害ごとに定められた指定緊急避難場所などを地図上に示すことができるため、防災にも役立つ。

「情報」ボタン

「情報」をクリックすると、「情報リスト」が開き、見たい項目をクリックすると詳細が表示される。また、ベースマップにほかの地理情報を重ねることができる。

「検索バー」

入力ボックスに地名や住所、緯度・経度などを入力すると、その位置が地図上に表示される。地名や住所の場合は、検索結果が表示されるので、そのなかから選択する。



↑1 地理院地図のウェブサイト
パソコンだけでなく、タブレットパソコンやスマートフォンなどの携帯端末でも閲覧することができる。

「コンテキストメニュー」

図の中心地点の住所や緯度・経度、標高などが表示される。「+」や「-」のボタンで、情報の表示・非表示を切り替えることができる。

「機能」ボタン

「機能」をクリックすると、「設定」、「ツール」、「断面図」「3D」などの項目が表示され、図形や文字の追加、距離や面積の計測、印刷、断面図や3D地図の作成などができる。

段階的な作業を通して、地理院地図の使い方がわかる。

●第1部の「SKILL」ページ

頁	タイトル
p.9	時差の計算
p.14	地形図の利用-地図記号-
p.15	地形図の利用-縮尺と等高線-
p.18	等値線図の作り方
p.19	階級区分図の作り方
p.22-23	地理院地図の利用
p.24-25	e-StatとjSTAT MAPの利用
p.26	WebGISの活用
p.42	統計資料の活用

ワイドで見やすいAB判の誌面

↓教科書 p.46-47

1節 世界の地形と人々の生活

節の主題 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。

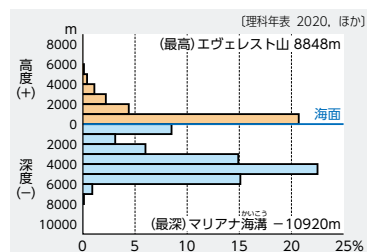
1 大地形と人々の生活

学習課題 大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。



↑1 高く険しいアルプス山脈を走る鉄道(スイス, 2015年8月) ↑2 大平原を走る鉄道(オーストラリア, 9月)
読み解き 写真1と写真2の地形にはどのような違いがあるのだろうか。

地図帳 巨大な山脈や海嶺、海溝の位置や分布を確認しよう。



↑3 地球表面の高度分布 読み解き 陸地の高さにはどのような特徴があるのだろうか。

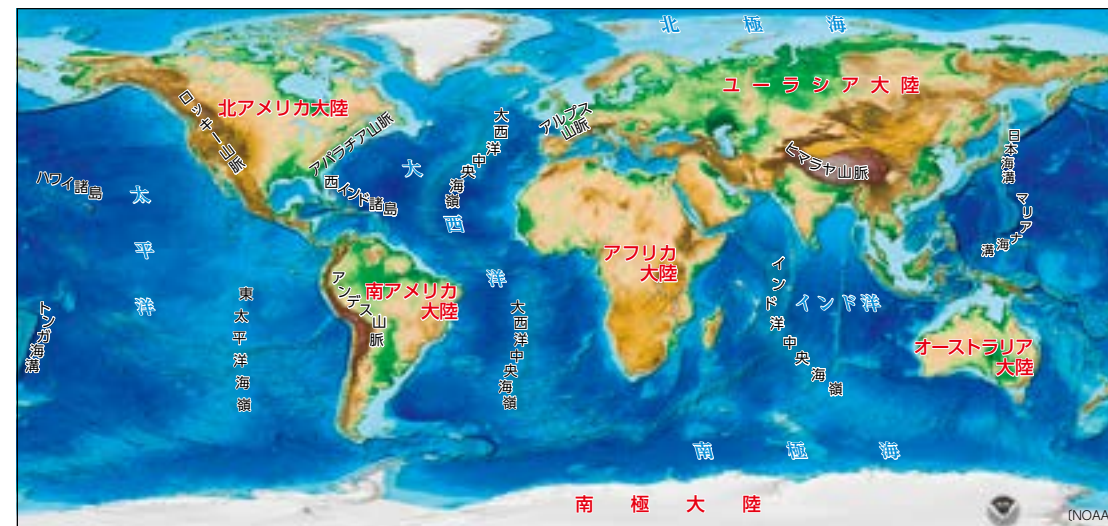
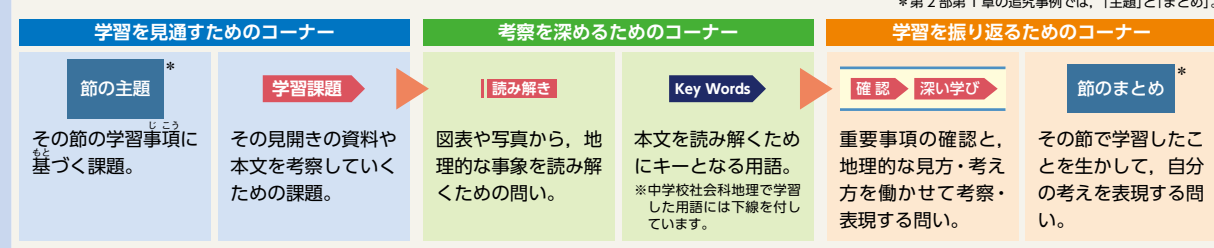
地殻変動 地球表面を覆う地殻に生じるさまざまな変化のこと。火山の噴火や地震などの活動に加え、長期間にわたる広大な地域の陸地の隆起や沈降、これに伴う褶曲や断層運動などがある。

生活の舞台となる地形 人々の生活は、土地の高低や起伏といった地形と関わり合いながら成立しており、それは、線路がさまざまな地形に対応して敷設されていることから分かる(写真1・2)。

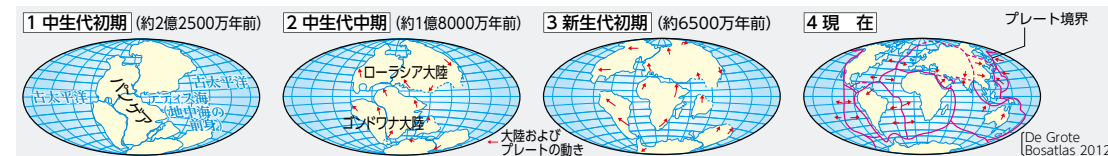
私たちの生活の舞台になっている陸地は、地球表面の3割を占めており、残りの7割は海である。陸地の大部分は高度1000m以下であり(図3)、世界の人々のほとんどがそこに暮らしている。広大な平野は一般に大陸の内陸部に広がっており、巨大な山脈は大陸の縁辺部に分布する傾向がある(図4)。起伏の小さな平野は、開発する際に地形的な制約が少ないため、大都市や農業地帯の多くが平野に立地している。

地形をつくる力 地球上の地形は、地球内部からの力である内営力と、太陽エネルギーを源にした外営力という二つの力が作用してつくられる。この力のバランスによって多様な地形が形づくられてきた。内営力は地殻変動や地震、火山活動によって地形を変化させる力であり、大陸や大平原、巨大な山脈などのような広

Key Words 内営力 外営力 大地形 小地形 変動帯 安定地域 プレート プレートテクトニクス



↑4 陸と海の地形(衛星画像) 読み解き 巨大な山脈や海溝、海嶺は、どのような場所に分布しているのだろうか。



↑5 大陸の移動と現在の大陸の分布 かつて存在した巨大大陸/パンゲアが、分裂・移動して現在の大陸の分布に至ったと考えられている。
読み解き 現在の大陸は、それぞれどのように移動してきたのだろうか。

範囲に及ぶ大地形をつくる。一方の外営力は、気温の変化や雨、風、水河、河川などの作用によって地形を変化させる力である。外営力は狭い範囲に作用するため、比較的規模の小さな小地形をつくる。

変動帯と安定地域 世界の大地形は、地震活動や地殻変動が活発で、巨大な山脈や活断層、火山などが分布する変動帯と、それ以外の地震・火山活動が不活発な安定地域で特徴が大きく異なる。

地球の表面は厚さ100km程度の固い岩石でできたプレートに覆われている。変動帯はプレート境界に沿って広がり、プレートの運動と密接に関連している。プレートは十数枚に分かれており、それぞれが海面を覆いつくした流氷のようにゆっくりと滑り動いている(図5)。地殻変動や地震・火山活動と、これらによる大地形の発達には、プレートの動きが原因で生じると考えられている。このようにさまざまな地学現象をプレートの運動に求める考えをプレートテクトニクスとよぶ。変動帯と安定地域では、地形的な特徴や地震・火山活動に違いがあるため、それぞれの場所に暮らしている人々の生活にも違いがみられる。

(International Commission on Stratigraphy資料)

地質時代	年代	事項
前カンブリア時代	46億年前	微生物の誕生
古生代	5億4100万年前	酸素濃度上昇と鉄鉱床の形成
	2億5200万年前	陸上動物の出現 石炭層の形成 シンダリウムと恐竜の時代
中生代	6600万年前	ほ乳類の多様化
	2300万年前	大陸氷河の出現 人類の誕生
	260万年前	氷河時代 人類の進化と拡散

↑6 地質時代の区分

確認 巨大な山脈や海溝、海嶺などの大地形が、どのような力で形成されたのか説明しよう。

深い学び 土地の起伏が人々の生活に与える影響について、身近な地域の例を挙げて説明しよう。

学習の見通しを立てられる問い。

AB判の判型を生かした迫力ある導入資料。

地図帳の活用を促す。

本文を補完する側注解説。
*側注で解説している用語は、すべてQRコンテンツにも掲載しています。

重要語句が一目でわかる。

2部1章 生活文化の多様性と国際理解

資料の読み解きを促す。

資料の活用を促す本文内の図番号表記。

学習内容を振り返るコーナー。

習得した知識を用いて考察を深めるコーナー。



教科書内容の理解を助ける 充実のコンテンツ



スマートフォン
からも閲覧可能。

●教科書p.4「関連するQRコンテンツ」
や、教科書の裏表紙のQRコードを
読み取ることでアクセス可能。



* QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトへアクセスした際には、通信料がかかる場合があります。
* QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



アクセスWebGIS

教科書に **WebGIS** のマークがある用語に関連するWebGISコンテンツを10点収録。
簡単な操作でGISを活用した授業ができる。各テーマに対応するワークシートも用意。



▲「産業の発展を支えてきた移民の力」の例

	テーマ
1	GISを使ってみよう1 (デジタルの地図と地球儀)
2	GISを使ってみよう2 (地理情報システムの活用)
3	GISを使ってみよう3 (さまざまな統計データ)
4	植民地支配の影響が残るアフリカの産業
5	世界の食卓に影響を与える農業
6	産業の発展を支えてきた移民の力
7	EU統合による工業や社会への影響
8	火山地形の読み取り方
9	河川地形とさまざまな気象災害1 (扇状地)
10	河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)

▶アクセスWebGISのテーマ



一問一答

重要語句を確認できる。
190問掲載。



用語解説

学習内容の理解に役立つ。
側注解説で取り上げた用語を含め、
338語掲載。



動画

教科書に **QR動画** のマークがある用語に関連する動画を収録。
アニメーションと解説によって学習内容の理解が深まる。



日本・世界の主な項目の統計資料

面積・人口、農業・漁業・林業、鉱工業、貿易などの統計を収録。円グラフや統計地図で表現することも可能。毎年、最新の統計に更新予定。



デジタル副教材も完備

●デジタル端末でご活用いただける副教材をご用意。



* 詳細はQRコードからご覧いただけます。

* 価格は2024年度版のものです。

デジタル準拠ノート 高等学校 新地理総合

デジタル版：定価980円(税込)
セット版(書籍+デジタル)：定価1,480円(税込)

●教科書準拠ノートを、タブレット用に再構成。

* 生徒向け機能：正誤自動判定/オリジナルの「見方・考え方問題」

* 先生向け機能：学習状況管理/観点別レーダーチャート自動作成/作問ツール



▲正誤自動判定



▲観点別レーダーチャート



こちらの
ノートの
デジタル版
です。

新詳地理資料 COMPLETE 2024

クラウド配信版：定価990円(税込)
セット版(書籍+クラウド配信)：定価1,500円(税込)

●タブレット端末で閲覧できる「クラウド配信版」と、書籍とクラウド配信の「セット版」を用意。

●クラウド配信版オリジナルコンテンツとして、地形や気候への理解が深まる動画などを全34点収録。



▲拡大・縮小、書き消し機能付き



▲オリジナルコンテンツの動画



こちらの
資料集の
デジタル版
です。

地理統計Plus -WebGIS付き- 2024年版

定価710円(税込)

●書籍の『地理統計』に加え、各統計データを地図化したWebGISを閲覧可能。

●WebGISの応用編「NEXT STEP」では、ベースマップや表現の色も変更可能。



▲NEXT STEP



●指導を支援する教科書関連教材が充実。

1 指導資料

書名	内容	定価
高等学校 新地理総合 指導資料 指導用教科書	<p>◆教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じデザインの指導用教科書。</p> <p>*こちらの販売形態は指導用教科書のみで単品販売です。下記で紹介している指導書Webサポートはご使用いただけません。</p>	4,400円 (税込)
高等学校 新地理総合 指導資料 Webサポート コンテンツ付	<p>①指導用教科書 ②指導書Webサポート*</p> <p>◆授業スライド(.pptx/Googleスライド) ◆授業プリント(.docx) ◆見通し・振り返りシート(.xlsx) ◆特設ページワークシート(.docx) ◆評価問題例(テスト例)(.docx) ◆映像資料 ◆年間指導計画案・評価規準例(.xlsx) ◆板書例(.txt) ◆教科書紙面(.pdf) ◆教科書本文(.txt) ◆教科書掲載図版〈カラー/モノクロ〉(.jpg)</p> <p>◆「高等学校 新地理総合ノート」データ(.docx) ◆教科書QRコンテンツ〈一問一答〉(.xlsx) ◆教科書QRコンテンツ〈用語解説〉(.xlsx) ◆教科書QRコンテンツ〈WebGISワークシート〉(.pdf) ◆白地図集(.jpg) ◆地理院地図の使い方/e-StatとjSTAT MAPの使い方動画 ◆GISサポート冊子のワークシート(.docx) ◆GIS主題図クリエイター(体験版)へのリンク(クーポンを登録してから半年間利用可能)</p> <p>*Webサポートは、帝国書院ウェブサイトからデジタルコンテンツをダウンロードいただけるサービスです。</p> <p>③付録冊子 ◆Webサポート紹介冊子 ◆GISサポート冊子</p>	24,200円 (税込)

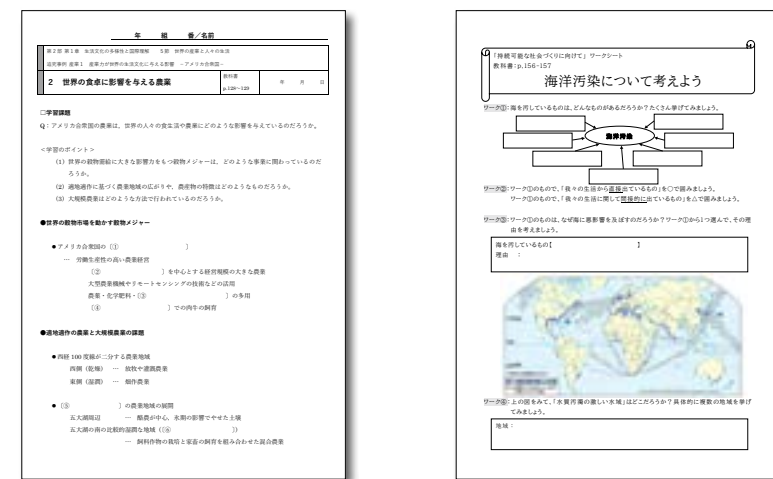
▼指導用教科書



- 教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じデザインの指導用教科書。
- 解説や導入の活用例などを具体的に掲載しており、授業の流れがわかる。
- 「確認」や「深い学び」の解答例を掲載しており、学習の振り返りに役立つ。

◀教科書p.128-129に対応したページ

▼授業プリント・特設ページワークシート



- 教科書の各見開きに対応した授業プリントを用意。先生ご自身で加工も可能。
- 教科書特設ページに対応したワークシートも用意。主体的・対話的で深い学びをサポート。

◀教科書p.128-129に対応した授業プリント(左), p.156-157に対応した特設ページワークシート(右)

▼授業スライド

- 教科書1見開きにつき10~20枚のスライドを用意。先生ご自身で加工も可能。
- 白黒反転版も収録。

教科書p.128~129

2 世界の食卓に影響を与える農業

第2部 国際理解と国際協力
第1章 生活文化の多様性と国際理解
5節 世界の産業と人々の生活
追究事例 産業1 食糧が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-

学習課題

Q アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業にどのような影響を与えているのだろうか。

<学習のポイント>

- (1) 世界の穀物供給に大きな影響力をもつ穀物メジャーは、どのような事業に関わっているのだろうか。
- (2) 適地適作に基づく農業地域の広がりや、農産物の特徴はどのようなものだろうか。
- (3) 大規模農業はどのような方法で行われているのだろうか。

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 1

●アメリカ合衆国の①労働生産性の高い農業経営…②を中心とする経営規模の大きな農業…大型農業機械やリモートセンシングの技術などの活用…農業・化学肥料・③の多用…④での肉牛の飼育

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 2

128-3 穀物メジャーの一つ、カーギル社が輸出している国・地域

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 3

128-4 主な農産物の総輸出量に占めるアメリカ合衆国の割合

確認

Q アメリカ合衆国で行われている適地適作の農業について、「降水量」と「西経100度」の語句を用いて説明しよう。

Googleスライドもご利用いただけます

◀教科書p.128-129に対応した授業スライドの一例

▼白黒反転の例

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 1

●アメリカ合衆国の①労働生産性の高い農業経営…②を中心とする経営規模の大きな農業…大型農業機械やリモートセンシングの技術などの活用…農業・化学肥料・③の多用…④での肉牛の飼育

2 書籍版副教材



高等学校 新地理総合ノート
定価660円(税込)

教科書完全準拠の構成で、学習事項を着実に習得できる。



新詳地理資料 COMPLETE 2024
定価1,030円(税込)

地理総合から地理探究までを一冊でカバーする資料集。



図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2024
定価1,000円(税込)
唯一の“地誌”重視の資料集。

*価格は2024年度版のものです。

3 学習者用デジタル教科書

アプリ版 定価1,100円(税込)/クラウド配信版 定価1,320円(税込)

- ①教科書紙面(紙の教科書と同内容)
- ②拡大・縮小, 書き消し, 保存機能
- ③特別支援教育対応機能

・リフロー*表示や総ルビ, 白黒反転, 読み上げの機能を搭載。

*書体や文字サイズ, 行間, 余白などを自由に変更して表示する機能です。



特色一覧

* 下記の表は、帝国書院ウェブサイトでご覧・ダウンロードできます。

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none">豊富な写真や図表と因果関係がわかる本文を通して、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができる。最新の具体事例を数多く扱うことで興味関心を高め、理解を深める工夫がなされている。世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで異文化理解につながる教科書になっている。
内容	<ul style="list-style-type: none">第1部第1章「地図と地理情報システム」では、地図やGISの活用といった基礎的・基本的な地理的技能を習得できるよう、特設「SKILL」が設けられている。第1部第2章「結び付きを深める現代世界」では、国と国との結び付きや地域的な枠組みについての理解が深まるよう、具体事例をもとに学習できるようになっている。また、交通・通信や観光などに関して、グローバル化が進む世界の様子が多様な写真や地図、グラフなどで示されている。第2部第1章「生活文化の多様性と国際理解」では、世界各地の生活文化の特色を捉える上で、学習効果の高い写真・図版や具体事例が数多く扱われており、生徒の興味関心を高める工夫がなされている。また最新の内容で、地域の「今」の姿が捉えられるようになっている。第2部第2章「地球的課題と国際協力」では、持続可能な社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、地球環境問題や資源・エネルギー問題、食料問題など、現代世界が抱える課題について具体的な事例が数多く取り上げられている。第3部第1章「自然環境と防災」では、災害発生のメカニズムや特徴から具体事例による防災対策まで総合的に学ぶことができ、災害発生時に生徒自身がとるべき行動を能動的に考えることができるようになっている。第3部第2章「生活圏の調査と地域の展望」では、自ら発見した疑問や課題を多面的・多角的な視野から考察する態度を養うことができるよう、調査テーマの設定方法や現地調査の手順、発表方法が具体的なレポートとともに提示されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none">学習指導要領に合わせて、重要事項が適切かつ丁寧に解説されている。また、発展的な内容も学習できるように側注欄の解説や資料、特設コーナーが充実している。原則、1時間1見開き構成となっているので、分量が適量で学習計画を立てやすくなっている。学習課題→導入資料→展開→確認・深い学びと学習の流れが整理されているため、効果的に学習できるようになっている。特設「SKILL」では、地理学習に欠かせない重要な地理的技能が習得できるようになっている。
表記・表現 及び 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none">人々の生活や地域の動向がいきいきと伝わる写真や、地図・グラフなどの資料が豊富に設けられており、生徒が自らの力で地理的事象の傾向を読み取り、視覚的に理解できるようになっている。地理的事象の背景や因果関係までわかる、丁寧な本文となっている。また、ふりがなや重要語句へのゴシック(太字)も効果的に振られている。本文内容を補足する側注解説が数多く設置されており、理解を助ける工夫がなされている。本文には関連図版・写真の図番号が示されており、資料の活用を促す工夫がなされている。グラフなどの統計資料は、新しいデータが使用されている。本文行間には、関連する事項が扱われているページの参照ページが割り当てられている。
ユニバーサル デザインへの対応	<ul style="list-style-type: none">本文や側注、キャプションなどの文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用され、読み取りやすく配慮がなされている。カラーユニバーサルデザインに配慮されており、色覚特性をもつ生徒にも読み取りやすい表現になっている。
その他	<ul style="list-style-type: none">紙は環境に配慮した用紙が使用されている。従来よりも軽く(旧課程教科書比、単位面積あたり約5%軽量)、かつ裏写りがしない用紙となっている。インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキが使用されている。使用期間の間、破損することがないよう、堅牢なつくりになっている。指導資料やデジタル教科書・教材、準拠ノートなど、充実した関連教材が用意されている。

著作者

新井 祥穂 (東京農工大学 教授)	●	須貝 俊彦 (東京大学 教授)	●	矢守 克也 (京都大学 教授)
市川 康夫 (埼玉大学 准教授)	●	戸井田 克己 (近畿大学 教授)	●	新井 教之 (京都教育大学附属高等学校 教諭)
大呂 興平 (大分大学 教授)	●	根元 一幸 (神奈川大学 特任准教授)	●	高木 優 (神戸大学附属中等教育学校 教諭)
小野寺 淳 (横浜市立大学 教授)	●	武者 忠彦 (立教大学 教授)	●	中村 光貴 (筑波大学附属高等学校 教諭)
木村 圭司 (奈良大学 教授)	●	矢野 桂司 (立命館大学 教授)	●	森田 浩司 (大阪教育大学附属高等学校池田校舎 教諭)
佐々木 緑 (広島修道大学 教授)	●	山内 昌和 (早稲田大学 教授)	●	株式会社帝国書院

特別支援教育に関する監修・校閲者

丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校 教諭)

